



ロボシリンダ RCP2 アクチュエータ 高推力タイプ

[RFA]

取扱説明書

第1版

IAI
Quality and Innovation

安全上のご注意（アクチュエータ）

機種のご選定および当該製品のご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

以下に示す注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです

JIS B 8433（産業用ロボットの安全通則）の安全規則と併せて必ず守ってください。

指示事項は危険度、障害度により「危険」、「警告」、「注意」、「お願い」に区分けしています。

 危険	取扱を誤ると、死亡または重傷に至る危険が差し迫って生じると想定される内容です。
 警告	取扱を誤ると、死亡または重傷に至る可能性が想定される内容です。
 注意	取扱を誤ると、傷害または物的損害の可能性が想定される内容です。
 お願い	傷害の可能性はないが、当該製品を適切に使用するために守っていただきたい内容です。

当該製品は、一般産業機械用部品として、設計、製造されたものです。

機器の選定および取扱にあたっては、システム設計者または担当者等十分な知識と経験を持った人が必ず「カタログ」、「取扱説明書」を（特にその中の「安全上のご注意」を）読んだ後に取扱ってください。取扱いを誤ると危険です。

取扱説明書は本体、コントローラ、などの全ての機器の取扱説明書を読んでください。

当該製品とお客様のシステムとの適合性はお客様の方で検証と判断を行った上で、お客様の責任によるご使用をお願いします。

「カタログ」、「取扱説明書」等をお読みになった後は、当該製品をお使いになる方がいつでも読むことができるところに、必ず保管してください。

「カタログ」、「取扱説明書」等は、お使いになっている当該製品を譲渡されたり貸与される場合には、必ず新しく所有者となられる方が安全で正しい使い方を知るために、製品本体の目立つところに添付してください。

この「安全上のご注意」に掲載しています危険・警告・注意はすべての場合を網羅していません。特に個別の内容は、その機器の「カタログ」「取扱説明書」をよく読んで安全で正しい取扱をおこなってください。

危険

全 般

下記の用途に使用しないでください。

- 1．人命および身体の維持、管理等に関わる医療器具
- 2．人の移動や搬送を目的とする機構、機械装置
- 3．機械装置の重要保安部品

当該製品は高度な安全性を必要とする用途に向けて企画、設計されていません。人命を保証しません。また、保証の範囲は納入する当該製品だけです。

設 置

発火物、引火物、爆発物等の危険物が存在する場所では使用しないでください。発火、引火、爆発の可能性あります。

製品を取り付ける際には、必ず確実な保持、固定（ワークを含む）を行なってください。製品の転倒、落下、異常作動等によって、ケガをする可能性があります。

本体、コントローラに水滴、油滴などがかかる場所での使用は避けてください。
製品のケーブルの長さを延長または短縮するために、ケーブルの切断再接続は絶対に行わないでください。火災の可能性があります。

運 転

製品の作動中または作動できる状態のときは、機械の作動範囲に立ち入らないでください。アクチュエータが不意に動くなどして、ケガをする可能性があります。
ペースメーカー等を使用している方は、製品から1メートル以内に近づかないでください。製品内の強力なマグネットの磁気により、ペースメーカーが誤作動を起こす可能性があります。
製品に水をかけないでください。水をかけたり、洗浄したり、水中で使用すると、異常作動によるケガ、感電、火災などの原因になります。

保守、点検、修理

製品は絶対に改造しないでください。異常作動によるケガ、感電、火災等の原因になります。
製品の基本構造や性能・機能に関わる不適切な分解組立は行わないでください。ケガ、感電、火災などの原因になります。

⚠ 警 告

全 般

製品の仕様範囲外では使用しないでください。仕様範囲外で使用されますと、製品の故障、機能停止や破損の原因となります。また、著しい寿命の低下を招きます。特に、最大積載重量や最大速度は守ってください。

設 置

非常停止、停電などシステムの異常時に、機械が停止する場合、装置の破損・人身事故などが発生しないよう、安全回路あるいは装置の設計をしてください。
アクチュエータ、コントローラは必ず、D種接地工事（旧第3種接地工事、接地抵抗100Ω以下）をしてください。漏電した場合、感電や誤作動の可能性があります。
製品に電気を供給する前および作動させる前には、必ず機器の作動範囲の安全確認を行ってください。不用意に電気を供給すると、感電したり、可動部との接触によりケガをする可能性があります。
製品の配線は「取扱説明書」で確認しながら誤配線がないように行ってください。ケーブル、コネクタの接続は抜け、ゆるみのないよう確実に行ってください。製品の異常作動、火災の原因になります。

運 転

製品の可動部を手で動かすとき（手動位置合わせなど）はサーボオフ（テイーチングボックス使用で）していることを確認してから行ってください。ケガの原因になります。
ケーブルは屈曲性の優れたものを使用しておりますが、ロボットケーブルではありません。規定以下の半径の可動配線ダクト（ケーブルベアなど）に収納しないでください。
ケーブルは傷をつけないでください。ケーブルに傷をつけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、巻き付けたり、重いものを載せたり、挟み込んだりすると、漏電や導通不良による火災や感電、異常作動等の原因になります。
停電したときは電源を切ってください。停電復旧時に製品が突然動き出しケガ、製品の破損の原因になります。
製品に異常な発熱、発煙、異臭が生じた場合は、ただちに電源を切ってください。そのまま使用すると製品の破損や火災の可能性があります。
異音が発生したり振動が異常に高くなった場合は、ただちに運転を停止してください。そのまま使用すると製品の破損、損傷による異常作動、暴走等の原因になります。

製品の保護装置（アラーム）がはたらいた場合は、ただちに電源を切ってください。製品の異常動作によるケガ、製品の破損、損傷の可能性があります。電源を切った後、原因を調べ、その原因を取り除き、電源を再投入してください。

製品の上に乗ったり、足場にしたり、物を置かないでください。転倒事故、製品の転倒、落下によるケガ、製品の破損、損傷による誤作動、暴走等の原因となります。

保守、点検、修理

製品に関わる保守点検、整備または交換などの各種作業は、必ず電気の供給を完全に遮断してから行ってください。なお、この時下記の事項を守ってください。

1. 作業中、第三者が不用意に電源を入れないよう「作業中、電源投入禁止」などの表示を見やすい場所に掲げてください。
2. 複数の作業者が保守点検を行う場合は、電源の入り切り軸の移動は必ず声をかけて安全を確認して行ってください。

廃棄

製品は火中に投じないでください。製品が破裂したり、有毒ガスが発生する可能性があります。

⚠ 注意

設置

直射日光（紫外線）のあたる場所、塵埃、塩分、鉄粉のある場所、多湿状態の場所、有機溶剤、リン酸エステル系作動油等が含まれている雰囲気中で、使用しないでください。短期間で機能が喪失したり、急激な性能低下もしくは寿命の低下を招きます。

腐食ガス（硫酸や塩酸など）の雰囲気で使用しないでください。錆の発生による強度の劣化の可能性があります。

下記の場所で使用する際は、遮蔽対策を十分行ってください。措置しない場合は、誤作動を起こす可能性があります。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 大電流や高磁界が発生している場所 | 3. 静電気などによるノイズが発生する場所 |
| 2. 溶接作業などアーク放電の生じる場所 | 4. 放射能に被爆する可能性がある場所 |

本体およびコントローラは、ちり、ほこりの少ない場所に設置してください。ちり、ほこりの多い場所に設置した場合には、誤作動を起こす可能性があります。

大きな振動や衝撃が伝わる場所（ $4.9\text{m}/\text{S}^2$ 以上）に設置しないでください。大きな振動や衝撃が伝わる誤作動を起こす可能性があります。

運転中になにか危険なことがあったとき直ぐ非常停止が掛けられる位置に非常停止装置を設けてください。ケガの原因になります。

製品の取り付けには、保守作業のスペース確保をお願いします。スペースが確保されないと日常点検やメンテナンスなどができなくなり装置の停止や製品の破損につながります。

製品の運搬、取付時は、リフトや支持具で確実に支えたり、複数の人により行うなど、人身の安全を確保して十分に注意して行ってください。

設置のとき、製品の可動部、ケーブルを持たないでください。ケガの原因になります。

アクチュエータ、コントローラ間のケーブルは、必ず弊社の純正部品を使用してください。なお、アクチュエータ、コントローラ、ティーチングボックスなど各構成部品は弊社の純正部品の組合せで使用してください。

ブレーキ機構は、垂直軸電源オフ時のスライダ落下防止用です。安全ブレーキなどに使用しないでください。

据付・調整等の作業を行う場合は、不意に電源などが入らぬよう「作業中、電源投入禁止」などの表示をしてください。不意に電源等が入ると感電や突然のアクチュエータの作動によりケガをする可能性があります。

運 転

電源を投入するときは上位の機器から順に投入してください。製品が急に起動し、ケガ、製品破損の原因になります。

製品の開口部に指や物を入れしないでください。火災、感電、ケガの原因になります。

製品の1メートル以内にフロッピーディスクおよび磁気媒体等を近づけないでください。マグネットの磁気によりフロッピーディスク内のデータが破壊される可能性があります。

製品の上に乗ったり、足場にしたり、物をおくことによる駆動部分への傷、打痕、変形を与えないでください。製品の破損、損傷による作動停止や性能低下の原因になります。

保守、点検、修理

アクチュエータのグリースを塗布するときは保護メガネを使用してください。グリースが飛び目に入ると目の炎症をおこします。

お 願 い

全 般

「カタログ」、「取扱説明書」等に記載のない条件や環境での使用、および航空施設、燃焼装置、クリーンルーム、娯楽機械、安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途への使用をご検討の場合は、定格、性能に対し余裕を持った使い方やフェールセーフ等の安全対策に十分な配慮をしてください。尚、必ず弊社営業担当までご相談ください。

設 置

製品を垂直に取り付けて使用する場合は、必ず垂直仕様（ブレーキ付）を使用してください。

機械装置等の作動部分は、人体が直接触れることがないように防護カバー等で隔離してください。

停電時にワークが落下するような制御を構成しないでください。機械装置の停電時や非常停止時における、テーブルやワーク等の落下防止制御を構成してください。

テーブルの直進精度を上げ、ボールネジおよびリニアガイドの滑らかな運動を確保するために、下記の事項に注意してください。

1. 本体の取付面は平面度0.05mm以内に仕上げてください。
2. アクチュエータの剛性を得るために、設置取付面を十分とってください。

設置・運転・保守

製品を扱う場合は、必要に応じて保護手袋、保護メガネ、安全靴等を着用して安全を確保してください。

廃 棄

製品が使用不能、または不要になった場合は、産業廃棄物として適切な廃棄処置を行ってください。

そ の 他

「安全上のご注意」全般についてお守りいただけない場合は、弊社は一切の責任を負えません。

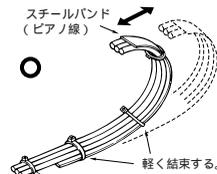
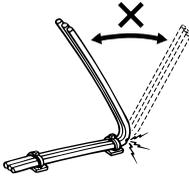
製品に関しての、お問い合わせは、最寄の弊社営業所にお問い合わせいたします。住所と電話番号は取説の巻末に表示してあります。

ケーブル処理における禁止事項

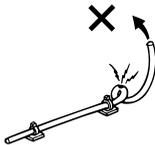
アクチュエータ、コントローラを使用してアプリケーション・システムを作り上げる場合、各ケーブルの引回しや接続が正しく行われないと、ケーブルの断線や接触不良等の思わぬトラブル発生につながり、ひいては暴走を引き起こす事にもなりかねません。ここでは、ケーブル処理方法に関する禁止事項について説明しますので、内容をよくお読みいただき確実なケーブル接続を行なって下さい。

ケーブル処理における禁止10項目（必ず守りましょう！）

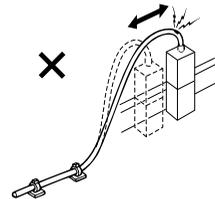
1. 1ヶ所に屈曲動作が集中しないようにしましょう。



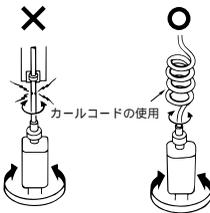
2. ケーブルには折り目、ヨジレ、ネジレをつけないようにしましょう。



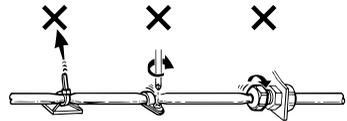
3. 強い力で引っ張らないようにしましょう。



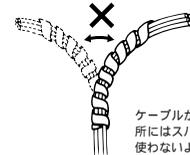
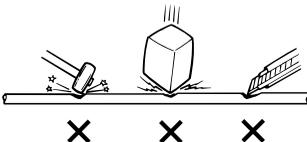
4. ケーブルの1ヶ所に回転が加わらないようにしましょう。



5. ケーブルの固定は適度にし、締めすぎないようにしましょう。

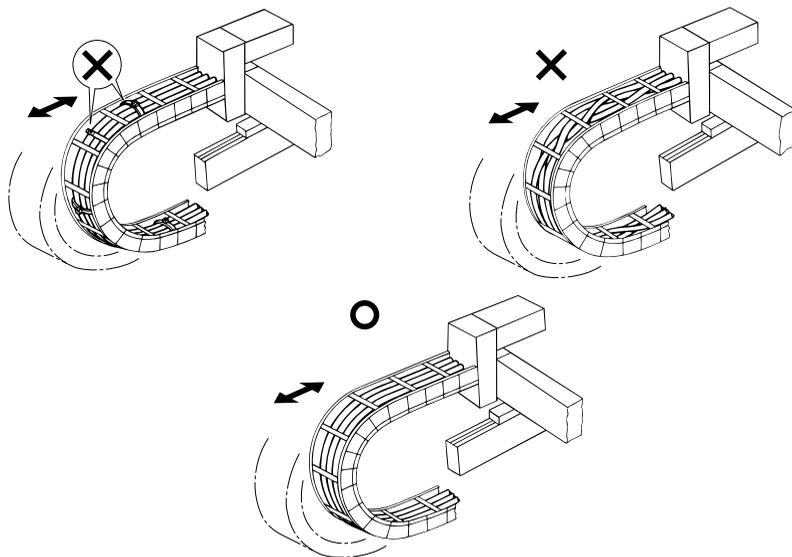


6. はさみ込み、打ちキズ、切りキズを付けないようにしましょう。

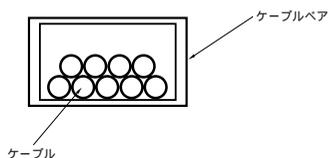


ケーブルがひんばんに曲る場所にはスパイラルチューブは使わないようにしましょう。

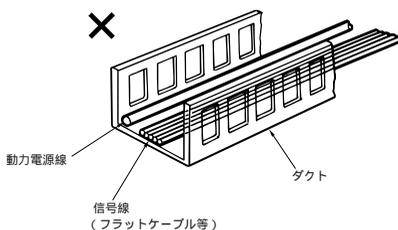
7. ケーブルベアやフレキシブルチューブ内でカラミやヨジレが無いように、また、ケーブルに自由度が有り結束しないようにしましょう。(曲げた時に突っ張らない事)



8. ケーブルベア内に占める収納ケーブル類の容積は60%程度にしましょう。

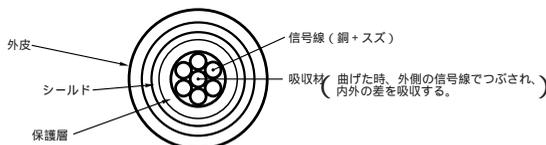


9. 信号線は強電回路と混在させないようにしましょう。



10. ケーブルに極度に屈曲がかかる恐れがある場合は、必ずロボットケーブルを使用しましょう。

【標準構造】
メーカー及び形式で異なります。



ロボットケーブルの必要性

アクチュエータ 2 - 3 軸組み合わせにおいて、可動部にケーブルを接続した場合、どうしてもケーブル根元に繰り返し曲げ荷重が働くため、使用しているうちにケーブル内部の芯線が断線する恐れがあります。この断線を極力防止するため、耐屈曲性を格段に向上させたロボットケーブルを是非ご使用されるよう強くおすすめします。

目 次

1. はじめに	1
2. 安全上の注意 ⚠	1
3. 各部の名称	2
4. 運搬、取扱い	4
5. 設置環境、保管環境	5
6. 据え付け	6
7. 配線ケーブル処理	9
8. アクチュエータに加わる負荷	9
9. 保守点検	10
10. 搬送質量と速度の関係	11
11. 電流制限値と押付力の関係	12
12. 垂直搬送質量と走行寿命の目安	13
13. 保証	14
14. モータ交換	15

1 . はじめに

お買い上げいただき誠にありがとうございます。

本取扱説明書は、アクチュエータの正しい取扱い方や構造・保守等について解説したものです。

お使いになる前に、必ず、この取扱説明書をお読みのうえ、正しくお取扱い下さいますよう、お願い申し上げます。

尚、作動に関しては、コントローラの取扱説明書も併せて充分にお読み下さい。

注意：アクチュエータの分解は絶対に行わないで下さい。故障の原因となります。

2 . 安全上の注意

基本的な取扱い

- ・ 本取扱説明書及びコントローラ取扱説明書に記載していない取扱い及び操作方法等に関しては、できないものと考え、行わないで下さい。
- ・ アクチュエータ、コントローラ間の配線は、必ず、弊社純正部品をお使い下さい。
- ・ 機械が作動中の状態または電源が投入されている時は、機械の作動範囲に人が立ち入ることは危険を伴う恐れがありますので、絶対に避けて下さい。

保守点検作業

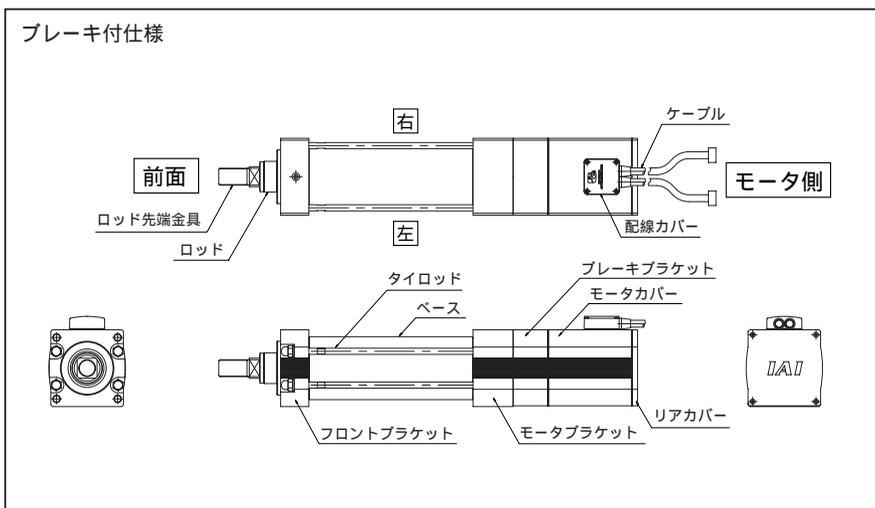
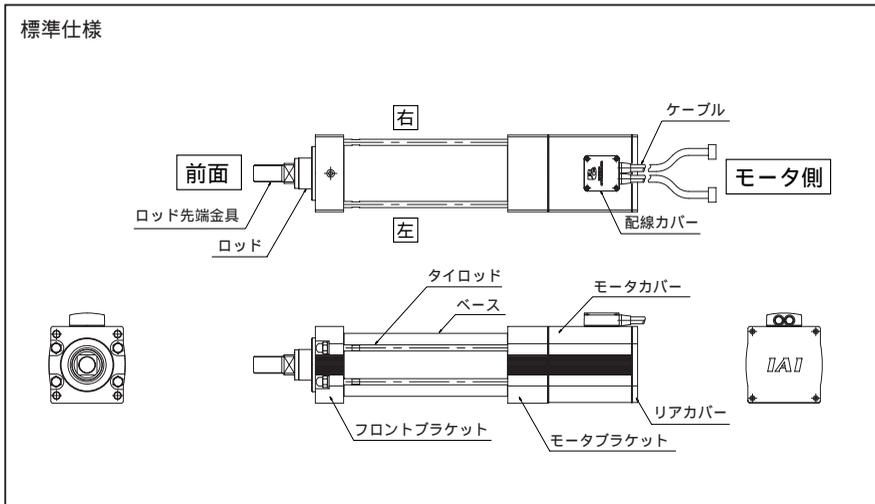
- ・ 保守点検作業は、必ず、コントローラの電源を遮断して行って下さい。
- ・ 点検作業中に第三者が不用意に電源を入れないう、充分配慮して下さい。
- ・ 作業中はその旨を明記したプレート等を見やすい場所に表示して下さい。
- ・ 複数の作業者が保守点検を行う場合は、互いの安全を確認して作業を進めて下さい。特に電源の入切や、軸移動を伴う作業は必ず声を出し、安全を確認して行って下さい。

本説明に関する不明点は、弊社技術サービス課または営業技術課までお問合せ下さい。

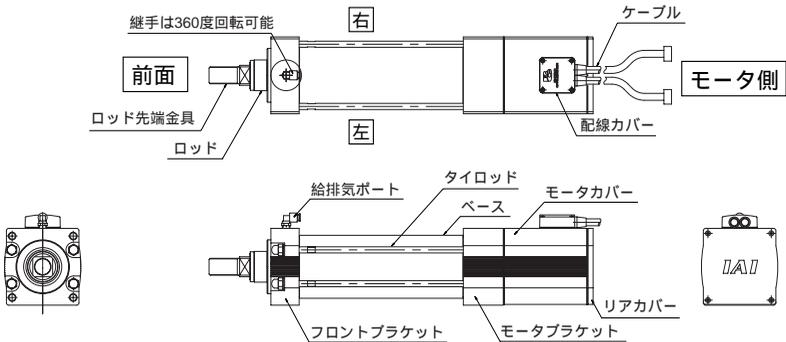
3. 各部の名称

アクチュエータ各部の名称を次に示します。

本説明書ではアクチュエータを水平に置いた状態で上面かつモータ側からアクチュエータを見て左右を表します。また前面とは反モータ側を意味します。

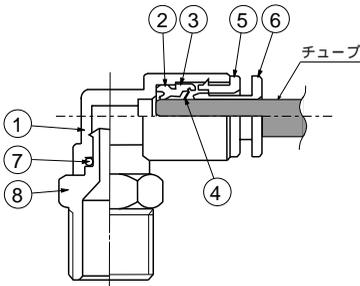


防塵・防滴仕様



・吸排気ポートにチューブを接続し、反対側の先端は、水分等の影響の無い場所まで引き伸ばして下さい。

吸排気ポート 内部構造



・チューブは左図の②パッキンまで完全に押し込んで下さい。押し込みが不完全ですとチューブの先端が④チャックの部分で止まってしまう、水分等が本体内部まで侵入し、故障します。

品番	名称	材質
①	本体	PBT
②	パッキン	NBR
③	ホルダー	C3604BD
④	チャック	SUS301
⑤	アウターリング	C3604BD
⑥	プッシュリング	ポリアセタール
⑦	Oリング	NBR
⑧	打込ニップル	C3604BD

吸排気ポート

アオイ製継手C L-061

適用チューブ(アオイ製)

型番	外径×内径 mm	材質
U-9506	6×4	ポリウレタン

4 . 運搬、取扱い

4-1 . 梱包状態での取扱い

極力ぶつけたり衝撃落させぬよう運搬取扱いには十分な配慮をお願い致します。

- ・重い梱包は作業者単独では持ち運ばないで下さい。
- ・静置するときは水平状態として下さい。
- ・梱包の上に乗らないで下さい。
- ・梱包が変形するような重い物、あるいは荷重の集中する品物を乗せないで下さい。

4-2 . 梱包から出した状態での取扱い

アクチュエータを梱包から出して取り扱う時は、フロントブラケット・モータブラケット部分を持って下さい。

- ・持ち運びの際、ぶつけたりしないように注意下さい。特にモータブラケット、あるいはモータカバーにご注意願います。
- ・アクチュエータの各部に無理な力を加えないで下さい。特にモータカバーやケーブルにご注意願います。
- ・開梱の際に落としてけがをしたり、機械を傷めないように充分注意して下さい。
- ・万一輸送時による損傷や品目の不足があった場合は、ただちに当社営業技術課までご連絡下さい。

補足) アクチュエータ各部の名称は「3 . 各部名称」を参照下さい

5 . 設置環境、保管環境

5-1 . 設置環境

設置にあたっては次の条件を満たす環境として下さい。

使用環境条件	
①	直射日光があたらないこと
②	熱処理炉等、大きな熱源からの輻射熱が機械本体に加わらないこと
③	周囲温度 0 ~ 40
④	湿度85%以下、結露のないこと
⑤	腐食性ガス、可燃性ガスのないこと
⑥	通常の組立作業環境であり、塵埃が多くないこと
⑦	オイルミスト、切削液がかからないこと
⑧	0.3Gを越える振動が伝わらないこと
⑨	強い電磁波、紫外線、放射線がないこと
⑩	本製品は耐薬品性に関して全く考慮されておりません

一般には作業者が保護具なしで作業できる環境です。

防塵、防滴タイプにつきましては、予めお問い合わせ下さい。

5-2 . 保管環境

保管環境は設置環境に準じますが、長期保管では特に結露の発生がないよう配慮下さい。

特にご指定のない限り、出荷時に水分吸収剤は同梱してありません。結露が予想される環境での保管の場合、梱包の外側から全体を、あるいは開梱して直接、結露防止処置を施して下さい。

保管温度は短期間なら60 まで耐えますが、1 カ月以上の保管の場合は50 までとして下さい。

6. 据え付け

6-1. 本体の据え付け

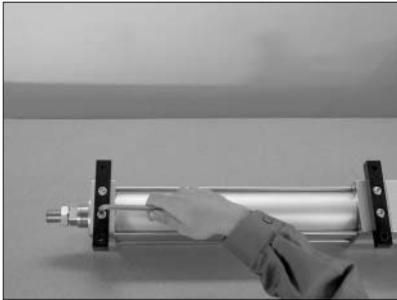
(1) 裏面取付け用タップ穴を使用する方法



アクチュエータには裏面取付け用のタップ穴が設けてあります。据え付けにはこのタップ穴をご利用ください。

タップ径	ネジ有効深さ
M10	18mm

(2) フートをアクチュエータに取付け、フートを架台に取付ける方法。(オプション)



裏面取付け用のタップ穴を使用してフートを取付けます。



フートを架台にボルト (M8) で取付けます。

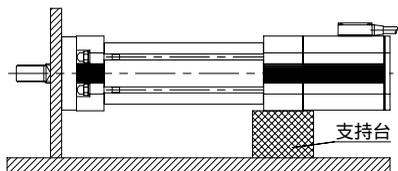
(3) 基準面のタップ穴を使用する方法



左図矢印部のタップ穴を使用して、架台側からボルトで取付けます。

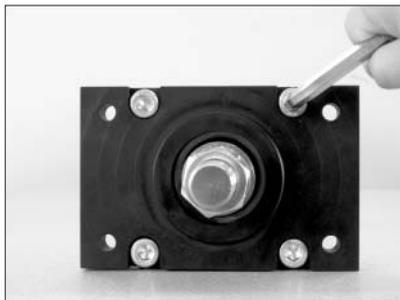


取付ボルト径	ネジ有効深さ
M10	18mm

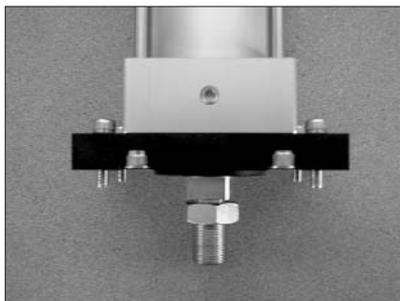


水平に設置する場合は、左図のように支持台を設けてください。

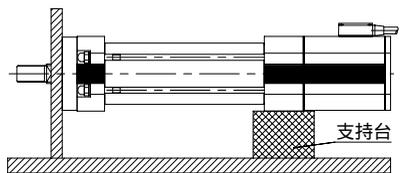
(4) フランジをアクチュエータに取付け、フランジを架台に取付ける方法。(オプション)



基準面のタップ穴を使用してフランジを取付けます。



フランジを架台にボルト (M8) で取付けます。



水平に設置する場合は、左図の様に支持台を設けてください。

(5) 締め付けボルト

据え付けには、六角穴付きボルト強度区分10.9以上ユニクロを使用してください。

推奨締め付けトルク

呼び径	締め付けトルク
M8	30.0N・m (3.06kgf・m)
M10	59.4N・m (6.06kgf・m)

推奨締め付けトルクは、被締め付け部材が鋼の場合です。(フート・取付けフランジは、鋼です。)

7. 配線ケーブル処理

7-1. 標準仕様の配線

ケーブル端のコネクタをコントローラに接続して下さい。

- ・ 屈曲疲労性に優れたケーブルを使用しておりますが、ロボットケーブルではありません。
小半径の可動配線ダクトに収容することは避けて下さい。
- ・ ケーブルが固定できない用途では自重で撓む範囲での使用が、自立型ケーブルホース等、大半径の配線とし、ケーブルへの負荷が少なくなるよう配慮下さい。
- ・ ケーブルを切断して延長したり、短縮、あるいは再結合しないで下さい。

ケーブルの変更をご希望の場合には弊社までご相談下さい。

8. アクチュエータに加わる負荷

- ・ カタログ値に示された負荷を越えないようにして下さい。
- ・ ロッド軸心と負荷移動方向は必ず一致させて下さい。

- ・ 横荷重が有る場合はアクチュエータの破損もしくは故障の原因となります。
- ・ ロッドに横荷重が有る場合、負荷移動方向にガイド等を設けて下さい。



- ・ ロッド（スライドシャフト）に回転トルクを与えないで下さい。
内部破損につながります。

ロッド先端部のナットの締め付けは、サイズ14(RSタイプ)または19(RMタイプ)のレンチでロッドを保持した状態で行って下さい。

9 . 保守点検

9-1 . 点検項目と点検時期

次に示された期間で保守点検を行って下さい。

稼働状況は1日8時間の場合です。昼夜連続運転等、稼働率の高い場合は状況に応じ点検期間を短縮して下さい。

	外部目視検査	グリース補給	
始 業 点 検			
稼 働 後 1 ヶ 月			
稼 働 後 3 ヶ 月		(ロッド摺動面)	1
以 後 3 ヶ 月 毎		(ロッド摺動面)	1
稼働後3年又は走行距離5000km			
以 後 1 年 毎			

1 ロッド摺動面へのグリース補給は、始業点検時グリース切れの場合、または3ヶ月毎に行ってください。

9-2 . 外部目視検査

目視検査では次の項目を確認して下さい。

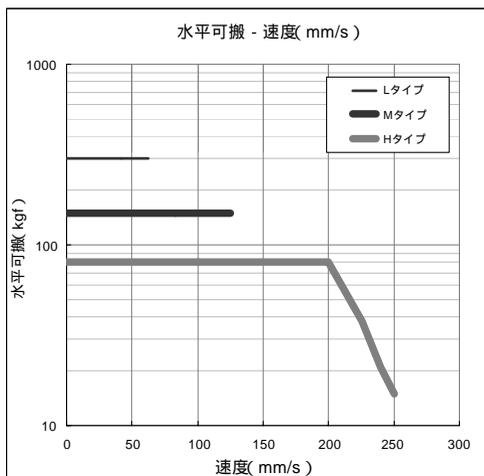
本 体	本体取付ボルト等の緩み
ケーブル類	傷の有無、コネクタ部の接続確認
総 合	異音、振動

9-3 . 清掃

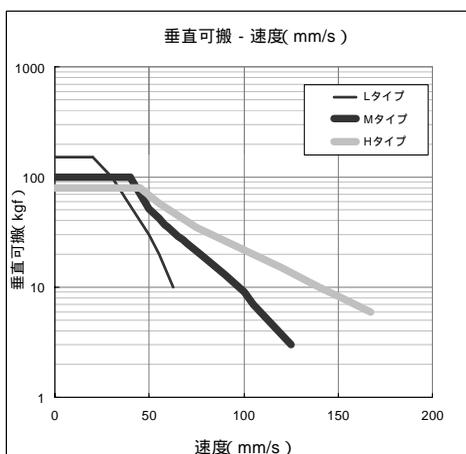
- ・外面の清掃は随時行って下さい。
- ・清掃は柔らかい布等で汚れを拭いて下さい。
- ・隙間から塵埃が入り込まないように、圧縮空気を強く吹き付けしないで下さい。
- ・石油系溶剤は樹脂、塗装面を傷めるので使用しないで下さい。
- ・汚れが基だしい時は中性洗剤またはアルコールを柔らかい布等に含ませて軽く拭き取る程度にして下さい。

10. 搬送質量と速度の関係

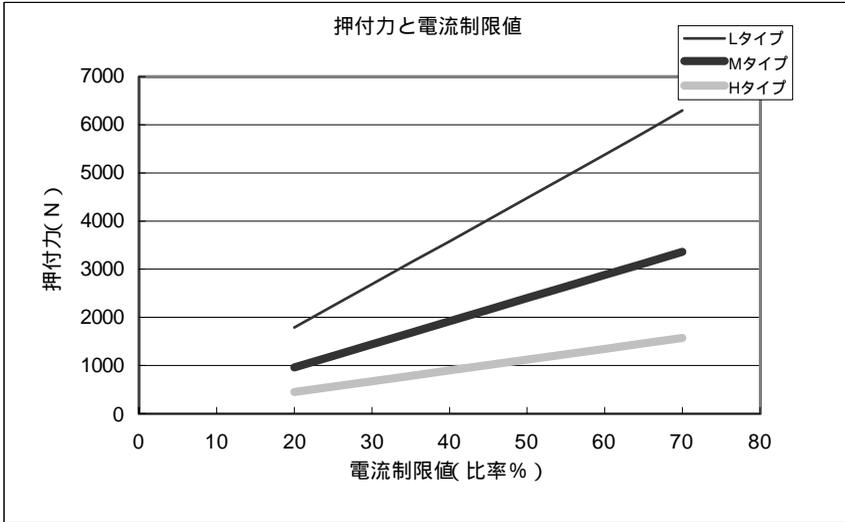
(1) 水平搬送質量と速度の関係



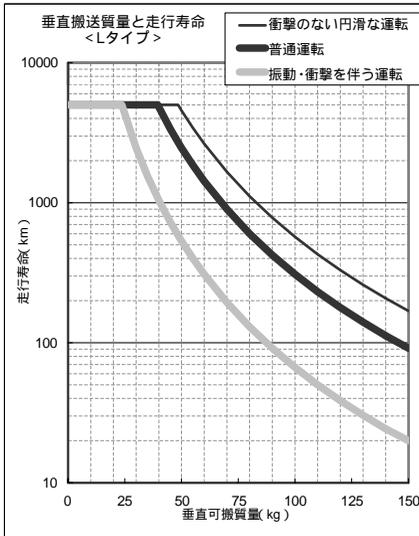
(2) 垂直搬送質量と速度の関係



11. 電流制限値と押付力の関係

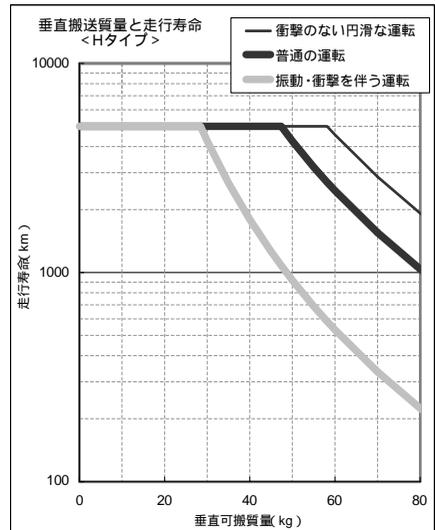
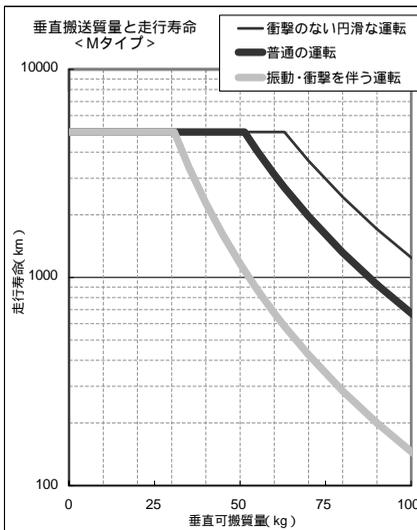


12. 垂直搬送質量と走行寿命の目安



<注>

- ・グラフは参考データです。
- ・搬送質量、衝撃・振動などの運転条件により、寿命は変化します。
- ・当社推奨の使用条件では、普通運転のグラフを目安にしてください。



13. 保証

13-1. 保証期間

保証期間は以下のいずれか先に達した期間と致します。

- ・ 弊社出荷後18ヵ月
- ・ ご指定場所に納入後12ヵ月
- ・ 稼働2500時間
- ・ 垂直使いの場合、走行寿命の距離以下

13-2. 保証範囲

上記期間中に製造者の責任により故障を生じた場合は、無償で修理を行います。但し、次に該当する事項に関しては、保証範囲から除外されます。

- ・ 塗装の自然退色等、経時変化
- ・ 消耗部品の使用による損耗
- ・ 機能上に影響のない発生音等、感覚的現象
- ・ 使用者側の不適当な取扱い、並びに保守点検の不備
- ・ 弊社または弊社代理店以外の改造
- ・ 弊社以外のコントローラを用いた事が原因で起きた故障
- ・ 天災、事故、火災等による場合

保証は納入品単体の保証とし、納入品の故障により誘発される損害はご容赦願います。

修理は工場持ち込みによるものと致します。

技術者派遣は保証期間内であっても別途費用を申し受けさせていただきます。

14. モータ交換

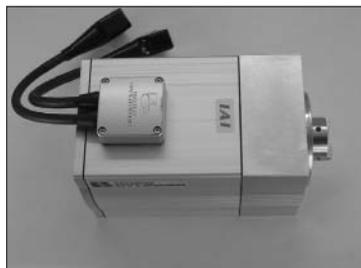
[交換に必要な物]

- ・六角レンチ
- ・下図の交換用モータ (ASSY)

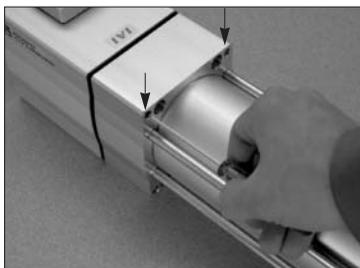
標準仕様交換用モータ



ブレーキ付仕様交換用ブレーキ付モータASSY

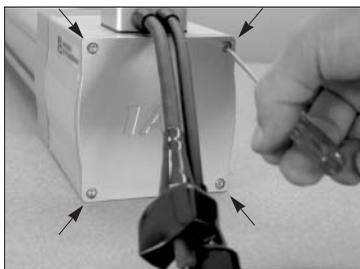


(1) 標準仕様 (ブレーキ無し)

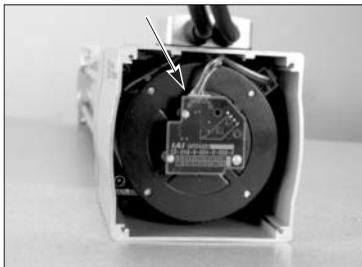


モータブラケット側からモータカバーを取付けている4個のボルト (M3) を外します。

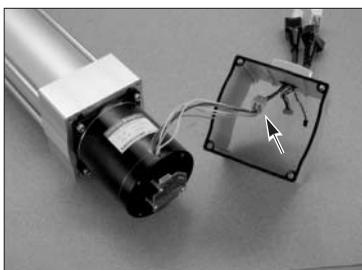
(左図矢印箇所と下側2箇所)



モータカバーにリアカバーを取付けているボルト (M3) を外します。



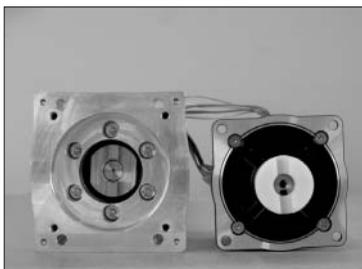
矢印位置のエンコーダコネクタを外します。



モータカバーをモータからずらし、矢印位置のモータケーブルコネクタを外します。



モータブラケットにモータを取付けている4本のボルト (M5) を外します。
モータが外れます。

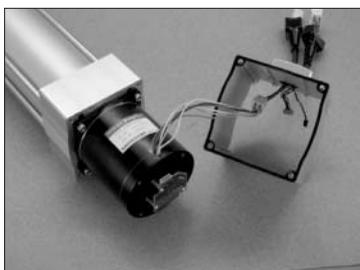


新しいモータとブラケット側のカップリングの位相を合わせます。

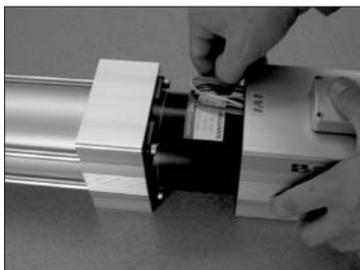


モータをモータブラケットにボルト（M5）で取付けます。

締付けトルク：727N・cm（74.2kgf・cm）

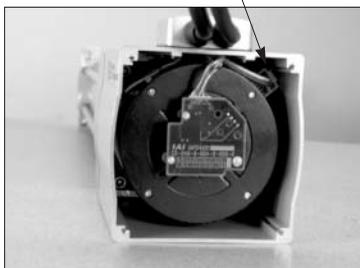


モータケーブルコネクタを接続します。



モータカバーをモータに被せます。
モータケーブルが左図の様な位置になるように収納します。

モータケーブルコネクタ

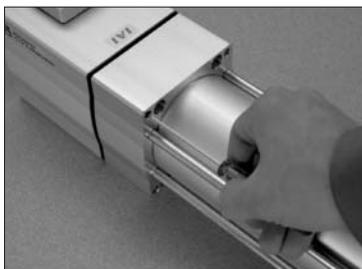


モータケーブルコネクタが左図の様な位置にあることを確認してください。

エンコーダコネクタを接続します。



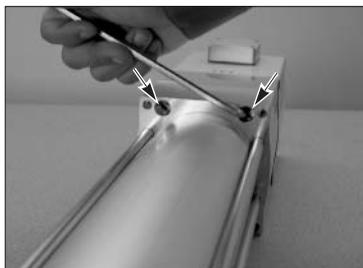
リアカバーを取付けます。
(締付けトルク：約80N・cm)



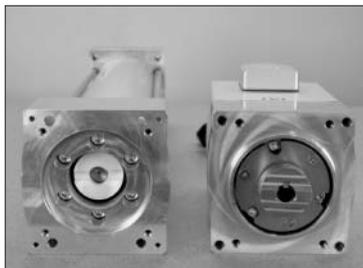
モータブラケット側からモータカバーを取付けます。
(締付けトルク：約80N・cm)

(2) ブレーキ付き仕様

ブレーキ付き仕様の場合、ブレーキ付モータASSYごと交換します。



モータブラケット側からブレーキカバーを取付けている4個のボルト(M6)を外します。
(左図矢印箇所と下側2箇所)
ブレーキ付モータASSYが外れます。



新しいモータASSYとブラケット側のカップリングの位相を合わせます。

逆の手順で取付けます。

M6締付けトルク：536N・cm (54.7kgf・cm)



株式会社 **アイエイアイ**

本社	〒424-0102 静岡県静岡市清水広瀬645-1	TEL 0543-64-5105 FAX 0543-64-2589
東京営業所	〒113-0034 東京都文京区湯島1-3-4 KTお茶の水聖橋ビル2F	TEL 03-5803-7803 FAX 03-5802-8151
大阪営業所	〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 堂島TSSビル4F	TEL 06-6457-1171 FAX 06-6457-1185
名古屋営業所	〒460-0026 名古屋市中区伊勢山2-5-10 服部ビル5F	TEL 052-323-8777 FAX 052-323-8904
仙台営業所	〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町14-15 アミ・グランデ二日町4F	TEL 022-723-2031 FAX 022-723-2032
新潟営業所	〒940-0082 新潟県長岡市千歳3-5-17 センザイビル2F	TEL 0258-31-8320 FAX 0258-31-8321
宇都宮営業所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷5-1-16 ルーセントビル3F A	TEL 028-614-3651 FAX 028-614-3653
熊谷営業所	〒360-0044 埼玉県熊谷市弥生町1-15-1 クレストアークビル2F	TEL 048-528-0270 FAX 048-528-0271
茨城営業所	〒300-1207 茨城県牛久市ひたち野原48-2 ひたち野うしく池田ビル2F	TEL 029-830-8312 FAX 029-830-8313
厚木営業所	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町1-10-6 シャンロック石井ビル6F	TEL 046-226-7131 FAX 046-226-7133
長野営業所	〒390-0877 長野県松本市沢村2-15-23 ラルカ沢村ビル2F	TEL 0263-37-5160 FAX 0263-37-5161
静岡営業所	〒424-0102 静岡県静岡市清水広瀬645-1	TEL 0543-64-6293 FAX 0543-64-2589
浜松営業所	〒430-0928 静岡県浜松市板屋町20-5 清水ビル3F	TEL 053-459-1780 FAX 053-458-1318
豊田営業所	〒446-0054 愛知県安城市二本木町切替7-2 錦見ビル6F	TEL 0566-71-1888 FAX 0566-71-1877
金沢営業所	〒920-0024 石川県金沢市西念3-1-32 西清ビルA棟2F	TEL 076-234-3116 FAX 076-234-3107
京都営業所	〒612-8401 京都市伏見区深草下川原町22-11 市川ビル3F	TEL 075-646-0757 FAX 075-646-0758
岡山営業所	〒700-0945 岡山県岡山市新保1105-1	TEL 086-801-3544 FAX 086-225-7781
広島営業所	〒730-0802 広島市中区本川町2-1-9 日宝本川町ビル5F	TEL 082-532-1750 FAX 082-532-1751
松山営業所	〒790-0905 愛媛県松山市榊味4-9-22 フォーレスト21 1F	TEL 089-986-8562 FAX 089-986-8563
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-18-19アオニミ 株式会社ビル2F	TEL 092-415-4466 FAX 092-415-4467
熊本営業所	〒862-0954 熊本県熊本市神水1-38-33 牽山ビル1F	TEL 096-386-5210 FAX 096-386-5112

ホームページアドレス <http://www.iai-robot.co.jp>

IAI America, Inc.

Head Office 2690W 237th Street Torrance, CA90505
TEL (310) 891-6015 FAX (310) 891-0815
Chicago Office 1261 Hamilton Parkway Itasca, IL 60143
TEL (630) 467-9900 FAX (630) 467-9912

IAI Industrieroboter GmbH

Ober der Röth 4, D-65824 Schwalbach am Taunus, Germany
TEL 06196-88950 FAX 06196-889524

再生紙を使用しております。

製品改良のため、記載内容の一部を予告なしに変更することがあります。

Copyright © 2005. Jan. IAI Corporation. All rights reserved.